

【今回の見直しが目指す我が国の行政の将来像】

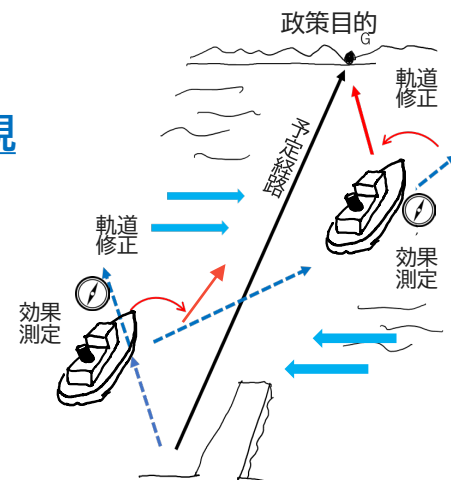
機動的かつ柔軟に政策の見直し・改善が行われ、社会経済の変化に対応できる行政の実現

前例のない課題に挑戦するためには、政策の進捗を正確に捉え、政策目的の達成に向け、柔軟に軌道修正を行っていくことが必要であり、そのために政策評価の機能を活用する。

【政策評価の機能】

政策の進捗状況（現在地）を正しく知り、
その「現在地」から政策の「目的地」に向けたナビゲーションを行う。

政策の進捗を正確に測るためには、
企画立案時に予定経路を明確に定め、実施後のズレを認識できるようにしておくことが重要。
効果を測定し、状況変化に応じて思い切った政策の見直し・改善につなげていく。
今後の政策評価では、このような「政策の効果検証」を重点的に行っていく。



出典：第27回政策評価審議会
森田朗部会長提出資料を加工

【見直しの方向性】（具体的な方策は次ページ参照）

① 効果検証の取組の推進

「必要性」「効率性」だけでなく「有効性」の観点を重視し、政策の効果検証にこれまで以上に積極的に取り組む。
効果検証の精度を高めるためにはデータ利活用が重要であり、人材育成や技術的なサポートを充実させる。

② 政策の特性に応じた効果検証が可能となる評価枠組みの導入

効果検証には政策の特性に応じて多様な方法が存在する。
したがって、今後は画一的・統一的な評価方法ではなく、政策の個別性・多様性を重視した制度運用に転換する。

【今後のスケジュール】

本答申に沿って政策評価に関する基本方針等を改定し、令和5年度以降、順次取り組む。

【具体的方策】

① 効果検証の取組の推進

➤ 効果検証の手法の開発と各府省における実践に必要な支援の充実

- ・ 行政評価局は、政策評価審議会、地方公共団体、大学等の研究機関等の協力を得て、具体的な実例をベースに効果検証の手法等の調査研究を進め、知見・ノウハウを蓄積して各府省に提供するなど必要な支援を行う。
- ・ 特に、政策の構成要素であるアクティビティ（行政の活動）に着目した取組を行うことを推奨し、重点的に手法の開発に取り組む。（ただし、手段にとらわれ過ぎず政策目的と手段の関係を不断に検討することも重要。）

➤ 効果検証に必要なデータ分析等を担う人材育成

- ・ 行政評価局は、関係機関の協力を得て、関係機関が行っているEBPMに資すると考えられる研修に関する情報を把握し各府省に提供する取組や、政策評価に関する統一研修の充実等により人材育成を支援する取組を進める。

➤ 効果検証における統計データ等の利活用の推進

- ・ 行政評価局は、政府の中央統計機構と連携し、各府省における効果検証のための統計整備や統計データ等のデータ利活用の技術的支援を行う。

② 政策の特性に応じた効果検証が可能となる評価枠組みの導入

➤ 政策の個別性・多様性を重視した制度運用への転換

- ・ 各行政機関共通の画一的・統一的な評価手法を定めているガイドライン等を改定するなど、各府省が政策の特性に応じた評価を行いやすくなるように制度運用を柔軟化する。

➤ 政策立案の中で行われる政策評価の充実

- ・ 政策の企画立案プロセスの中で実施され、政策の見直し・改善に反映されている分析や検討結果（審議会答申、レビューシート等）を政策評価として活用することを推奨するため、関係ガイドラインの整備を行う。